

- 問1 日本の農業産出額に関する統計において、産出額の割合が青森県で10.1%、和歌山県で8.1%、山形県で7.1%、愛媛県で6.7%、山梨県で6.6%となっている農産物の区分として、最も適切なものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 工芸農作物                      2. 野菜                      3. 果実                      4. 米
- 問2 日本の大都市圏に含まれる自治体の農業統計において、小松菜やホウレンソウ、花き（観賞用の花）の生産額が他の地域に比べて高い割合を占めることがあります。このような農業が、大都市の周辺で発達した背景として最も適当な理由はどれですか。（2015年 山口県公立入試 類似）
1. 交通網の発達により、遠方の地域から届く安価な輸入野菜と価格競争をする必要があるため。                      2. 大都市周辺は農地価格が安く、一度に大量の肥料や農薬を投じる効率的な生産が可能のため。                      3. 冬でも温暖な黒潮の影響を受けやすく、加温施設を使わずに野菜を栽培できるため。                      4. 大都市の市場が近くにあり、鮮度が重視される作物を収穫後すぐに届けられるため。
- 問3 中部地方と近畿地方の産業指標を比較した説明として、統計的特徴を正しく述べているものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 中部地方は鉄道による旅客輸送量が関東地方に次いで多いのが特徴であり、近畿地方は農業産出額が製造品出荷額を上回っている。                      2. 中部地方と近畿地方は、どちらも鉄道による旅客輸送量よりも、農業産出額の統計数値の方が大きいという共通点がある。                      3. 中部地方は広大な平野を活用した農業産出額が製造品出荷額を上回っており、近畿地方は製造業の規模が全国最大である。                      4. 中部地方は中京工業地帯を背景に製造品出荷額が全国最大であり、近畿地方は京阪神の都市圏背景により鉄道旅客輸送量が多い。
- 問4 日本付近の海流について、宮城県沖などで潮目を形成し、好漁場を生み出す要因となっている「南から北上する暖流」と「北から南下する寒流」の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 対馬海流と親潮（千島海流）                      2. 対馬海流とリマン海流                      3. 黒潮（日本海流）と親潮（千島海流）                      4. 黒潮（日本海流）とリマン海流
- 問5 徳島県上勝町の統計において、夜間人口を100とした時の昼間人口の割合を示す指標は、1990年には93でしたが、2005年には102、2010年には104と上昇し、昼夜の人口バランスが逆転しています。このような変化が起こった背景にある、この町の取り組みとして適切なものはどれか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
1. 大規模な工業団地を誘致し、周辺の都市部から若者の労働力を大量に住まわせることに成功した。                      2. 隣接する市町村と合併したことで、行政の中心地としての機能が移転し、公務員の通勤者が増加した。                      3. 町全体を観光地化し、宿泊施設を増やすことで夜間人口を昼間人口よりも大幅に増やした。                      4. 「葉っぱビジネス」と呼ばれる地場産業を活性化させ、高齢者が地域内で働き続けられる環境を整えた。
- 問6 日本のような火山国において、火山の熱エネルギーを利用する「再生可能エネルギー」の一つとして注目されている発電方法があります。大分県などで盛んに行われており、地下から噴き出す蒸気の力を利用して発電機を回すこの方法の名称を答えなさい。（2021年 佐賀県公立入試 類似）
1. バイオマス発電                      2. 太陽光発電                      3. 風力発電                      4. 地熱発電
- 問7 ある果実の生産状況をまとめた資料において、山梨県が圧倒的な収穫量を誇り、全国の約4分の1近くを占めていることが示されています。この果実が山梨県の盆地の縁などで多く栽培されている理由として、地理的な背景から最も適切な説明を選びなさい。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
1. 平坦な広大な土地により、大型機械を導入した効率的な生産が可能のため                      2. 夏の降水量が非常に多く、湿潤な気候が栽培に適しているため                      3. 低湿地で保水力が高い土壌が、果実の成長を促すため                      4. 傾斜地や扇状地は水はけが良く、日照時間が確保しやすいため
- 問8 ある過疎地域では、地元の農水産物を用いた加工食品の売上高が伸びており、それに伴って地域内の事業所数や働く人の割合も上昇しています。この状況から読み取れる、地域産業の振興と地域社会の維持に関する説明として正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 加工食品の売上高を増やすために、地場産品ではなく他県産の安価な原料を主に利用している。                      2. 農家や漁師の数を減らして効率化を進め、余った労働力を都市部の工業地帯へ送り出している。                      3. 地場産品の開発や生産を強化することで、売上を伸ばし、地域での雇用を増やしている。                      4. 事業所数を増やすために、地元の資源とは関係のないIT企業などの誘致を最優先している。
- 問9 北海道の苫小牧港における貿易統計において、輸入品のうち木材チップが大きな割合を占め、輸出品では紙・パルプの取扱量が最も多いという特徴が見られます。このような、海外から原料を輸入し、国内の工場で製品に加工した上で輸出する貿易の形態を何といいますか。（2023年 長野県公立入試 類似）
1. 中継貿易                      2. 垂直分業                      3. 加工貿易                      4. 自由貿易
- 問10 群馬県川場村と東京都世田谷区の事例のように、都市住民が農村を訪れて農業体験を行ったり、都市の祭りなどで農村の特産品を販売したりすることで、地域社会の活性化を図る取り組みを何と呼びますか。最も適切なものを選んでください。（2018年 広島県公立入試 類似）
1. 完全移住促進事業                      2. 都市農村交流                      3. 工場誘致政策                      4. 高度経済成長政策
- 問11 滋賀県で行われている「魚のゆりかご水田プロジェクト」では、絶滅が危惧される魚類が産卵のために水田へ遡上できるよう魚道を設置し、そこで収穫された米をブランド化して販売しています。このような、環境保全と経済的な自立を両立させる取り組みのねらいとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 伝統的な農法をすべて廃止し、最新の工業技術を導入することで、環境への負荷を抑えながら農産物の大量生産を実現すること                      2. 自然環境を守りつつ、農産物の付加価値を高めることで、地域の農業を将来にわたって持続可能な産業として活性化させること                      3. 水田を魚の養殖専用の池に転換することで、米の生産を止め、より収益性の高い水産業へと地域の産業構造を変化させること                      4. 環境保護を最優先するため、農産物の収穫量や販売価格を度外視し、国からの補助金のみで農家の生活を支えること
- 問12 日本の都道府県における作物の生産傾向について、全国の収穫量上位に新潟県や北海道のほか、秋田県・山形県・宮城県といった東北地方の県が位置している作物として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 宮城県公立入試 類似）
1. 大豆                      2. ばれいしょ                      3. 水稻                      4. 小麦
- 問13 仙台市の中心部に位置する行政区の統計において、夜間に住んでいる「夜間人口」に比べ、昼間にその区に滞在している「昼間人口」が大幅に多くなる傾向が見られます。この理由として、都市の機能の観点から最も適切な説明を選びなさい。（2026年 群馬県公立入試 類似）
1. 大規模な都市では、夜間はすべての住民が市の外へ出なければならないという決まりがあるため                      2. 行政区が設置されたことにより、都心部への居住が法律によって厳しく制限されているため                      3. 郊外の住宅地から、区内にあるオフィスや商業施設へ通勤・通学する人々が流入するため                      4. 夜間になると都心部の常住人口が急激に増加し、周辺の区へ移動する傾向があるため